

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患政策研究事業）
分担研究報告書

中性脂肪蓄積心筋血管症の診断基準改訂に関する研究

研究分担者 島田 和典 学校法人順天堂大学 医学部 先任准教授

研究要旨

中性脂肪蓄積心筋血管症 (Triglyceride deposit cardiomyovasculopathy, TGCV) の全国的な診療体制を構築するためには、全国規模の客観的指標に基づいた診断基準の改訂が必要である。そこで、TGCV 診断基準検討委員会を組織し、TGCV 診断基準 2020 年度版の改訂、論文発表を行った。さらに、心筋 proton-magnetic resonance spectroscopy (MRS) 法を用いて、心筋内 TG の著明な蓄積を非侵襲的に診断した症例報告を行った。

A. 研究目的

TGCV の診断基準は、平成 28 年 9 月 10 日に第 4 版が発表されている。本症の全国的な診療体制を構築するためには、全国規模の客観的指標に基づいた診断基準の確立が必要である。本研究は、診断基準改訂のための臨床研究を行うことを目的とした。

B. 研究方法

TGCV の病態、診断や治療に関連する専門分野の研究者からなる診断基準検討委員会を組織し、最新の資料や論文の収集、会議を行い、診断基準の改訂、論文発表を進めた。

(倫理面への配慮)

当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関して、倫理委員会の審査・承認、インフォームドコンセントを取得して行った。

C. 研究結果

TGCV 診断基準検討委員会を組織し、第 4 版発表以降の最新の資料や論文の収集、会議を行い、診断基準の改訂を行った。今回の改定では、必須項目として 3 項目、大項目として 3 項目を採用し、確定診断 (definite) は、必須項目と大項目それぞれを少なくとも 1 個満たす場合、疑診 (probable) は、必須項目を 1 つでも満たす場合とした。糖尿病と血液透析は参考所見とし、補足等は脚注として記載した。さらに、本学で診断された TGCV 例において、心筋 MRS 法を用いて心筋内 TG の著明な蓄積を非侵襲的に診断した。

D. 考察

TGCV 研究班の TGCV 診断基準検討委員会により、TGCV 診断基準 2020 年度版の改訂、論文発表を行った。今後 TGCV の全国的な診療体制の構築、TGCV 患者に対する医療水準の向上に貢献すると考えられる。また、心筋 MRS は、今回の診断基準

においても必須項目の一つとして記載されており、今後の TGCV 症例における非侵襲的診断法の一つとして、その臨床的有用がさらに高まると考えられる。

なし
3. その他
なし

E. 結論

TGCV 診断基準検討委員会により、The Diagnostic Criteria 2020 for TGCV として論文発表した。さらに、心筋 MRS を用いて TGCV 症例における著明な心筋 TG 蓄積を世界で初めて報告した。

F. 健康危険情報

該当せず

G. 研究発表

1. 論文発表

Kobayashi K, Sakata Y, Miyauchi H, Ikeda Y, Nagasawa Y, Nakajima K, Shimada K, Kozawa J, Hao H, Amano T, Yoshida H, Inaba T, Hashimoto C, Hirano K, for the Japan TGCV Study Group. The Diagnostic Criteria 2020 for Triglyceride Deposit Cardiomyovasculopathy. *Ann Nucl Cardiol.* 2020, 6, 99-104, doi.org/10.17996/anc.20-00131

Sai E, Shimada K, Aikawa T, Aoshima C, Takamura K, Hiki M, Yokoyama T, Miyazaki T, Fujimoto S, Konishi H, Hirano K, Daida H, Minamino T. A case of triglyceride deposit cardiomyovasculopathy with massive myocardial triglyceride proven using proton-magnetic resonance spectroscopy. *Int Med.* 2020, in press

2. 学会発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録